

■ CIMの基本的な知識および3次元地形モデル作成の基本操作と機能を学びました。



設計や施工、維持管理といった、建設に関するあらゆる場面での導入が推進されているCIM について、基本的な知識を習得するとともに、パソコン・ソフトを使用しながら基本操作方法から3次元モデル作成まで、一連の流れを学びました。

- 1 日時 令和7年7月17日（木）10：00～16：00
- 2 場所 中部インフラDXセンター 2階 研修エリア
(名古屋市東区大幸南1-1-15（中部技術事務所構内）)
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の社員
- 4 参加者 19社 27名
- 5 内容

時 間	研 修 内 容	講 師
9:30～10:00	(受付)	
10:00～12:00	・CIM概要と動向の説明(講義) CIMの概要やR5原則適用(義務項目/推奨項目)等の説明 ・3次元CADの基本操作(演習) 3DCADの操作方法、3次元データの閲覧方法 2次元図面から構造物や河川モデルの作成 (使用ソフト: V-nasClair、i-ConCIM Kit)	川田テクノシステム㈱ 提携講師 嘉津 敏明 氏
12:00～13:00	(昼休憩)	
13:00～16:00	・3次元地形モデル作成(演習) 点群データの取込み、サーフェス(TIN)変換、オルソ画像 ・CIM成果物(演習) 成果物の閲覧、照査について ・CIM活用データの作成(演習) 走行シミュレーション(住民説明・可視化)、施工ステップ(4D) 造成モデルの土量計算、構造物モデルの数量計算	
16:00	閉講(アンケート記入後)	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 5ユニット（認定講習）
設計CPD 5ポイント（認定講習）
- 8 受講者の感想

- ・テキストに無い内容も説明していただいて勉強になった。
- ・実際に体験しながら学べる事で理解が深まりやすい。
- ・業務に導入できれば効率的だと思った。

以上